

業種確認・利益率計算書

記載例

5号-(ハ)-① (特殊事情)

■業種確認

- ・記入例をご確認のうえ記載ください。
- ・今現在行っているすべての事業が「指定業種」に属するか確認してから業種別にご記入ください。
- ・事業実態と記載の業種が異なる場合、融資が受けられないことがあります。

業種名	具体的な事業内容	日本標準産業分類	
		細分類番号	細分類業種名
飲食業	〇〇で居酒屋を経営。店名は「大崎酒場」。	7651	酒場、ビアホール
不動産業	アパートを2棟(〇〇と〇〇)所有。全部で24部屋あり、20部屋	6921	貸家業

太枠に最近1年間で最も売上高等
が大きい業種を記入してください。●日本標準産業分類は、「政府統計の総合窓口」より
ご確認ください。<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>●指定業種は、中小企業庁ホームページよりご確認
ください。<https://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/sefu/net/5gou.html>

■利益率計算書

・売上高営業利益率

法人の場合：{(売上高) - (売上原価) - (販売費及び一般管理費・経費)} / (売上高)

個人事業主の場合：{(売上高) - (売上原価) - (経費)} / (売上高)

A：申込時点における最近3か月間の月平均売上高営業利益率

	①売上高	②売上原価	③販売費及び 一般管理費・経費	④営業利益 (①-②-③)	月平均 売上高営業利益率
令和6年9月	3,000 千円	1,200 千円	1,350 千円	450 千円	
令和6年10月	2,800 千円	1,120 千円	1,260 千円	420 千円	
令和6年11月	2,600 千円	1,040 千円	1,170 千円	390 千円	
最近3か月の合計	ア 8,400 千円	3,360 千円	3,780 千円	イ 1,260 千円	A=イ/ア×100 15.0 %

(1) 災害等の特殊事情の影響を受けた年月：令和2年2月

(特殊事情の内容：新型コロナウイルス感染症の影響により不動産業では空室の増加、飲食業では営業時間の短縮・外出自粛に伴い売上高が減少した。)

(2) Aの期間に対応する前年同期の月平均売上高営業利益率

	①売上高	②売上原価	③販売費及び 一般管理費・経費	④営業利益 (①-②-③)	月平均 売上高営業利益率
令和5年9月	3,100 千円	1,085 千円	1,395 千円	620 千円	
令和5年10月	2,500 千円	875 千円	1,125 千円	500 千円	
令和5年11月	2,700 千円	945 千円	1,215 千円	540 千円	
前年同期の合計	ウ 8,300 千円	2,905 千円	3,735 千円	エ 1,660 千円	(2)=エ/ウ×100 20.0 %

(3) 特殊事情が発生した事業年度又は特殊事情が発生する直前の事業年度の決算における売上高営業利益率

決算期	①売上高	②売上原価	③販売費及び 一般管理費・経費	④営業利益 (①-②-③)	売上高営業利益率
令和2年3月	オ 480,000 千円	144,000 千円	192,000 千円	カ 144,000 千円	(3)=カ/オ×100 30.0 %

前年同期の企業全体の売上高営業利益率の減少率（特殊事情が発生した事業年度又は特殊事情が発生する直前の事業年度比）

((3) - (2)) / (3) × 100 = 33.3 % ≥ 20 %

B：Aの期間に対応する災害等の特殊事情の影響を受ける直前同期の3か月間の月平均売上高営業利益率

	①売上高	②売上原価	③販売費及び 一般管理費・経費	④営業利益 (①-②-③)	月平均 売上高営業利益率
令和1年9月	4,300 千円	1,075 千円	1,720 千円	1,505 千円	
令和1年10月	3,500 千円	875 千円	1,400 千円	1,225 千円	
令和1年11月	3,600 千円	900 千円	1,440 千円	1,260 千円	
特殊事情の影響を受ける 直前同期の合計	キ 11,400 千円	2,850 千円	4,560 千円	ク 3,990 千円	B=ク/キ×100 35.0 %

※Bの期間～直近月までの売上高等の証拠資料（試算表の写し）を提出してください。

・月平均売上高営業利益率の減少率

(B - A) / B × 100 = 57.1 % ≥ 20 %

上記各項目に記載の金額は、当社の売上高等と相違ありません。

令和6年12月1日

(申請者)

名称 株式会社おおさき

代表者 代表取締役 大崎 太郎